

平成29年度地域づくり人材養成講座・みのかも市民サポートセンター講座  
 「誰もが主役・地域を話そう「かも楽塾」 第3回ワークショップ開催概要

日 時	平成29年6月13日(火) 13:30~15:30
場 所	美濃加茂市生涯学習センター 203号室
コーディネーター	コミュニティ診断士 平 孝明 氏
アドバイザー	岐阜経済大学准教授 菊本 舞 先生
運営サポート	コミュニティ診断士 坂本 由貴 氏 コミュニティ診断士 今尾 ひな子 氏 コミュニティ診断士 春日井 伸一郎 氏
受講者	18名
主催者	岐阜県環境生活部県民生活課 美濃加茂市市民協働部地域振興課・みのかも市民活動サポートセンター
内 容	<p>◆開会          1 指導者・助言者紹介</p> <p>◆活動発表          発表者：岐阜県コミュニティ診断士 今尾 ひな子 氏          「多文化共生の活動などの絆づくり活動について」</p> <div data-bbox="1145 719 1390 902" data-label="Image"> </div> <p>▲発表者の今尾さん</p> <p>&lt;活動について&gt;          外国の方への日本語支援だけでなく、話し方講座の市民先生など地域の絆づくり活動を実施。今年度2学期より、コミュニティスクールボランティアとしても活動予定。</p> <p>&lt;発表概要について&gt;          ・地域活動を一人で実施するのは大変だが、仲間と一緒に実施すれば、お互いサポートし合えるため、継続できる          ・会員事情や環境変化によっては、方向性の修正や前向きな休息も必要          ・おしゃべりするグループができれば、地域の絆が生まれ、地域活動も創出される          →しゃべる(コミュニケーションをとる)ことは大切          ・気負うことなく、自分ができることをできるところで、できる方法でやる必要がある</p> <p>◆ワークショップ          「<u>地域の絆を育むためには</u>」をテーマに、KJ法を用いて「絆・つながり」の必要性・意義・課題などを洗い出したあと、課題解決策を検討しました。</p> <div data-bbox="363 1547 1430 1675" data-label="Text" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>KJ法とは・・・              情報をカード化し、同じ系統のものでグループ化することで情報の整理と分析を行う方法のことです。</p> </div> <p>○Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絆の必要性：何気ない相談ができる場所、気軽に集える場所があるとよい理想</li> <li>・「絆」という言葉は、最近使われるようになっただけではないか              →言葉は違っていたかもしれないが、昔から「絆・つながり」はあった</li> <li>・昔冠婚葬祭、祭りなど地域や親戚と密につながっていた⇨現在つながりが浅くなった              →昭和40年代頃の時代に戻りたいが、社会ニーズや地域を取り巻く環境が変化しているためどうしたらよいか…</li> </ul> <div data-bbox="1145 1939 1390 2125" data-label="Image"> </div>

## OBグループ

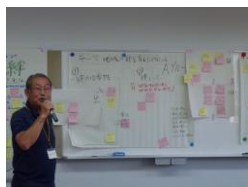


- 絆をつくるきっかけがない→きっかけをつくる必要がある  
そのためには、「自ら積極的に声かけを行い顔見知りになる！」  
ことが必要  
→まずは勇気を出し、顔を見て話す
- 自分たちにできること：挨拶、子どもの見守り活動、声かけ当番、  
地域の食事会、ハイタッチGO（※1）

※1：地域住民が通学中の小学生とハイタッチしながらの挨拶する活動

## OCグループ

- 絆の基本は、家族の絆、夫婦の絆
- 地域の絆を育むためには、声かけと挨拶が必要。  
自分自身も心の窓を開く。  
→声をかけないとコミュニケーションは生まれない  
⇔いきなり会話することは困難→まずは挨拶から始める
- 独居老人やひきこもりの人、世代の違う人に声掛けを



### <平さんコメント>

- 絆の価値観は、世代によって違うかもしれない。様々な世代の方が、どのように地域でつながっていくのか、絆をつくっていくのが今後の課題

### <菊本先生コメント>

- 日常的に絆を感じる場面、絆を意識せざるを得ない場面が皆さんの周りにあると感じた
- 昭和44年頃から「コミュニティ」という言葉が使われるようになった。ちょうど経済成長し、物資的には満たされたが、昔からの地域社会が崩れ始めた頃。
- 今回、絆をテーマにもってきた意味を考え議論されたことはよいことだ
- 絆を考えること＝この数十年どう地域が変化し、どう地域と向き合うかを考えること

